

日時：平成16年9月3日（金）9:30～17:00（参加費無料）

会場：京都大学薬学部総合研究棟1階12番講義室（京阪電車丸太町駅下車徒歩10分）

特別講演

1. Diversity-Oriented Synthesis of Natural Product-like Macrocycles towards Chemical Genetics (9:45-10:30)

(Harvard Univ., Dept. Chemistry and Chemical Biology, S. L. Schreiber lab 留学体験記)

中井一夫 先生（藤沢薬品工業株式会社探索研究所・合成研究）

2. Synthetic Biology の展開：遺伝子ネットワークの構築からケモゲノミクス研究へ (10:30-11:15)

荒木通啓 先生（東京大学医科学研究所ヒトゲノム解析センター・助手）

3. テーラーメイドレセプターからバイオセンサーへ (11:25-12:10)

森井 孝 先生（京都大学エネルギー理工学研究所・講師）

4. 新興・再興ウイルスのケモゲノミクスを基盤にした化学療法剤の開発 (13:30-14:15)

大高 章 先生（京都大学薬学研究科・助教授）

5. GPCR ケモゲノミクスを基盤にした創薬のグランドデザイン (14:15-15:15)

石黒正路 先生（(財)サントリー生物有機化学研究所・部長研究員）

6. レチノイドとサリドマイドを範とするドラマ型創薬 (15:30-16:30)

橋本祐一 先生（東京大学大学院分生研応用生命科学専攻・教授）

7. 総合討論(16:30-17:00)

参加ご希望の方は、下記の address に件名“第1回ケモゲノミクス研究会参加希望”とし、氏名、所属、連絡先（住所、TEL、E-mail）を明記の上、お申込下さい。会場の都合により参加者は100名になり次第締め切らせて頂きます。

藤井信孝、大高 章（世話人）京都大学大学院薬学研究科

〒606-8501 京都市左京区吉田下阿達町 46-29

TEL: 075-753-4551 or 4571; FAX: 075-753-4570 E-mail: coe21@pharm.kyoto-u.ac.jp

